

◆優良賞◆

チアダンスでの日々

相模小学校 六年

大野 晴菜

私は、約五年間週に一回チアに通っていました。チアは、二種類あって、チアダンスとチアリーディングに分けられます。私が通っていたのは、チアダンスです。

日々の練習の中で、達成感や、楽しかったことがありました。

一つ目は、仲間と遊んだり、協力したりしたことです。チアのレッスンの前に仲間とおにごっこをして遊んだことがとても楽しかったです。仲間が楽しそうにあそんでいる姿を見るとこっちまで、自然に笑顔になりました。そして、ダンスのふりつけや技などがよく分からない時に教え合えたことです。みんなが、親しい関係で年代問わず教え合えたことは、とても良いことだと思います。

二つ目は、新しい曲や技をがんばってできた時です。チアの中で定期的に発表会があって、そのために新しい曲や技を練習していました。一から学ぶので、むずかしいところもありますが、仲間や先生と協力しながら、できた時には、達成感があつてとても嬉しいです。

しかしコロナ禍に入って、ふだんはかけ声や最後の決めポーズの時に出演していた

「ゴー、チアー！」

の声が出せなくなったり、発表会が無観客になったりして、じよじよに活

気がなくなっていました。その中でも、チームで楽しんで、チアを行ってききました。久びさの観客有りの発表会は、活気があり、無観客の何倍も楽しかったです。

つらいことがあつても、チアの時はそのことを忘れて楽しむことができました。仲間や先生に支えられながら、私はここまで続けられました。今はチアをやめて、その曜日は塾に通っています。

今まで私は内向的な部分がありました。けれどチアを始めて、コミュニケーションをとったり、下級生とふれあったりしたことで、自分の意見を話せるようになったり、めんどう見がよくなったと思います。これまで過ごしてきたチアでの日々は、今でも役立っていると思います。そして、これからの人生にとってもプラスになると思います。最高のチアの思い出を胸に、これからもいろんなことに挑戦してがんばっていききたいです。